

# 実践シンポジウム

## 岡山に社会的処方を実装するII. 子どもと社会的処方

昨年、「岡山に社会的処方を実装するには」と題してシンポジウムを開催し、この一年で高齢者向けの施策は集いの場をはじめとした事業が急速に広まり、寄り添いサポートをはじめとした重層的支援体制もいくつもの自治体で始まってきている。

一方、国の令和7年度重点計画改定で喫緊の課題となっているのは小中高生自殺者の増加である。また、昨年は幼少期の経験の成人後の影響に関する我が国のデータも相次いで公表された。

今年度は、社会的処方の視点を子どもに拡大してみる。成人での社会的処方のトリガーは機能低下や孤独であるのに対して、子どもでは小児期逆境体験(ACEs)や保護的体験(PCEs)不足、さらにはその背景となる社会的決定要因(SDH)の把握が契機となろう。

本シンポジウムではACEsやSDHを掴む実際を学び、それらをどのようにして社会資源に繋がられるかを考えたい。

**2025年 9月 6日(土) 14:00～16:00**

**岡山県医師会館 4階 401会議室(岡山市北区駅元町19-2)**

### 講演

**座長:松岡 宏明(岡山市保健所 所長)**

**「社会的処方の子どもへの拡大という問題意識」**

**松岡 宏明(岡山市保健所 所長)**

**「小児科診療で拾うSDH・ACEsと、社会的処方によるPCEsの創出  
— かかりつけ医の視点からできるアセスメントと支援の実践 —」**

**田中 道徳(岡山県精神科医療センター 医師)**

**「臨床から行政へ移って見えてきた子どもの健康に資する社会資源」**

**中村 和恵(岡山市保健所 医療専門監)**

### パネル・ダイアログ

**「子どもに社会的処方を処方する? 社会的処方としての子ども?**

**---全ての子どもにPCEsをもたらせる社会づくり---**

**お申込みは、裏面にてお願いいたします。**

# 実践シンポジウム

2025年 9月 6日(土) 14:00~16:00

岡山県医師会館 4階 401会議室(岡山市北区駅元町19-2)

## お願い

岡山県医師会会員専用駐車場は台数に限りがございます。  
公共交通機関をご利用の上、ご来館ください。

## 取得単位

日医生涯教育講座カリキュラムコード: CC.5 心理社会的アプローチ 1単位  
CC.72 成長・発達の障害 1単位  
プライマリ・ケア専門医・認定医更新のための単位: 2単位(申請中)  
プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位: 1単位(申請中)

## 参加費

会員(岡山プライマリ・ケア学会、岡山県医師会)・・・無料  
非会員・・・¥500ー  
会場参加の場合: 当日、受付時にご用意ください。  
WEB参加の場合: 受講終了後に振込用紙を送付致します。

## 申込方法

会場参加: 下記申込書にご記入の上、FAXにてお申込ください。  
WEB参加: 件名「実践シンポジウム」、氏名・所属・職種を記載の上、  
下記アドレス宛てに送信をお願いします。  
✉ 送信先ML: [gakkai@p-care-okayama.com](mailto:gakkai@p-care-okayama.com)

## 参加申込書 (岡山プライマリ・ケア学会事務局 FAX:086-251-6622)

|              |  |
|--------------|--|
| ふりがな         |  |
| 氏名           |  |
| 所属           |  |
| 職種           |  |
| 連絡先<br>(TEL) |  |